

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市子育てふれあいプラザ泉中央
2	指定管理者	一般社団法人マザー・ウイング
3	指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 89,536人 (前年度比 105.7%) 内訳 ひろば利用者 56,573人 託児利用者 1,862人 中高生 26,695人 子育て支援者 721人 ホール利用 176 件 (3,685人) ※視察等の来館者名 454人 平成24年度 86,681人 平成25年度 92,036人 平成26年度 84,705人</p> <p>《事業》 子育てを行う市民に対する交流の場の提供, 子育てに関する相談, 情報提供等, 子育てを総合的に支援する事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 52,747千円 (53,114千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 4,082千円 (3,844千円) ※託児料 838千円 (698千円) ※ホール利用料 ・ その他収入 666千円 (583千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の声を事業に反映させるための意見箱を設置 ・ イベント開催時に, 参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	仙台市子育てふれあいプラザの設置目的に基づいた基本方針を策定し, 掲示等により, 利用者に周知している。 利用者アンケートの満足度が総じて高く, 子育てを総合的に支援し, 子育てが安心してできるまちの実現に資する取組みを行っていることが認められる。	S
II 施設の運営管理体制	各種マニュアルの整備, 日々のスタッフミーティングの徹底により, 職場内の意思統一を図っており, 適切に運営されていることが認められる。 また, 個人情報の取扱いに係る研修は団体独自のプログラムで実施されており, 個人情報が記載されている書類等も適切に管理されている。	S
III 施設・設備の維持管理	日常の定期巡回を警備業者に委託し, 職員は犯罪や事故防止のための研修で意識を高めるなど, 乳幼児親子が安全かつ快適に利用できるよう配慮しており, 優れた維持管理を行っていることが認められる。	S
IV サービスの質の向上	乳幼児親子の視点に立ったサービスの提供を心がけており, 相談, 意見, 要望など, 利用者の声を反映した優れた運営を行っていることが認められる。 フロアミーティングなど日々のミーティングを細やかに実施しており, 職員の意思統一が図られていることが, サービスの質の向上につながっている。	S
V 施設固有の基準	仙台市子育てふれあいプラザ条例第4条に規定する各種事業が適切に実施されている。利用者の安心安全の確保を最優先に, 子育て拠点施設としての機能を十分に発揮していることがうかがえる。ボランティアの育成にも力を入れ, 自主的に活動できる体制づくりに努めている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（一般社団法人マザー・ウイング）による自己評価》
<p>乳幼児ひろばについては、より利用しやすく、安心して来館して頂けるよう特にひろばの作り込みに力を入れました。混雑する日に異年齢のお子さんたちがトラブルを起こしたり、利用者同士が居づらい様子がなくなるようレイアウトを変更しました。これまで取り組んできた利用者参画をさらに進め、乳幼児の母親に「ママボラさん」としてイベントのコーディネーターを務めてもらったり、ママならではのイベントを定期的に企画・実施していただくことが出来ました。地域の方がひろばのおもちゃを整備する「ひろばボランティア」、絵本の整理と読み聞かせを行う「絵本ボランティア」の活動を行いました。地域との繋がりが密になってきていることを実感しています。イベントの種類が多さと参加者の多さのびすく泉中央の特徴の一つですが、父親向けのイベントも重点的に実施しました。託児は、利用者が増加し過去最高となりました。安心安全な託児になるよう配慮を行いました。特に預ける事に躊躇している親御さんなどから「初めての託児はのびすく泉中央で」との信頼の声をいただいています。</p> <p>ひろばの日常の会話の中から相談に発展するケースが多く、今年度は相談件数も過去最高になると共に、内容的にも深刻な相談、継続で関連機関と連携しながら長い目で見守って行く必要のあるケースが多くありました。スタッフや他の施設職員向けの相談スキルアップ講座も開催しました。活動支援は、基盤ができあがり計画的に事業を実施することが出来ました。6年目となった「活動見本市」を開催し支援者同士や利用者とも貴重な出会いの場になっています。</p> <p>中高生事業の利用者は過去最高の26,000名を越え、初年度の2.6倍にもなりました。これまでの事業を一つ一つ見直し、利用者の参画や一歩踏み出すための視点で実施することで内容が深まりました。学校、保護者、地域での認知と理解が広がっていることを感じています。</p> <p>ホールは、中高生のバンド練習の利用が増え利用数は増えました。一方、一般の方の利用が増えないことが課題です。</p> <p>開館6年目に入り、地域の方々や利用者の方々との関係性を強くしながら安定性と信頼を大切に1年間運営しました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域子育て支援の拠点施設として、各機関と連携しながら子育てを総合的に支援する体制を構築している。職員に対する研修や災害発生時の役割分担の明確化など、実施水準の向上に向けた意欲的な取り組みが随所に見受けられる。また、利用者の個別相談にはきめ細やかに対応する等、利用者の要望に的確に応え、信頼関係が構築されていることが、利用者アンケートによる満足度の高さからも伺える。特に託児事業については、回答が得られたすべての利用者から、また利用したいとの回答が寄せられており、評価できる。</p> <p>また、中高生の居場所事業については、模索しながらの取り組みではあるが、中高生の利用も増えており評価できる。ボランティアの育成や子育て支援者への支援事業等、子育て支援事業が総合的に実施されており、優れた運営管理を行っていることが認められる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部子育て支援課